企業力向上 Case Study
– i･PLACE（アイプレイス）活用事例（vol.1） –

貴社の中核となる人材を育む 学び･鍛錬の場を、オンラインで。
i・PLACE
incubation Place for Core Persons

野村貿易株式会社様

100年企業として、次の100年に向けた”企業文化の礎”を築いていく。社員の自発的な学びの「場」、迷ったときに立ち戻る「場」として i･PLACE を活用。

1917年の創業以来100年以上にわたり受け継がれてきた「驀直進前」(まくじくしんぜん：周到な準備で決断し、開拓者精神をもって、信じる道を邁進する)の精神のもと、フード部門、ライフ部門、インダストリー部門の3部門を主軸に輸出入業務及び外国間貿易を展開する総合商社である野村貿易株式会社様。次の100年に向けた“企業文化の礎”を築いていくために、役員及び管理職を対象に i･PLACE を導入されました。

トップメッセージ

i・PLACE メニュー

代表取締役
社長
藤原英昭様

取締役
執行役員
管理部門長
明比勝彦様

人事総務部
部長
山本優様

人事総務部
教育研修グループ
グループリーダー
齋藤正芳様

i･PLACE 導入の効果

社内の”共通言語”といえるものができた

「i･PLACE を導入して最も感じているのは、社内の“共通言語”といえるものができた、ということだと思います」と人事総務部長の山本優様は話されます。そのことには、藤原社長様、明比取締役様も大きくうなずかれ、「中長期計画を立案、遂行していく中においても、長期的、多面的、全体的な思考をしたり、ものごとの本質を見るための拠り所としての“共通言語”が意識され、会議の場などで発言そのものも増えてきた」、また「学ぶ姿勢が出てきて、いい文化が芽生え始めたと感じられる」と手応えを感じられています。現在管理職以上に展開している i･PLACE を、「今後は管理職候補をはじめとする一般社員にも広げていきたい」(教育研修グループグループリーダー齋藤正芳様)とのことで、野村貿易様の次の100年に向けた取り組みは、ますます加速されそうです。

３ヶ月に１度発行される「i・PLACE利用状況レポート」を見ながら i・PLACE 活用のレビューをする、左から、山本優様（人事総務部長）、藤原英昭様（代表取締役社長）、明比勝彦様（取締役執行役員管理部門長）

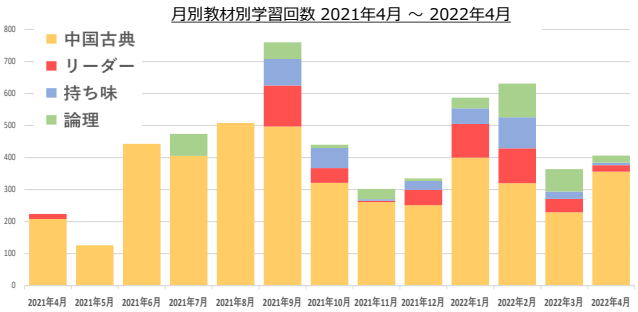
i･PLACE 導入の背景

会社の土台となりうる体系的な取り組みをしたかった

「100年企業として、次の100年に向けたDNAを伝承するためには、テクニックではなく“心の持ち方や姿勢”が大切で、会社の土台となりうる体系的な取り組みをしたかったんです」と代表取締役社長の藤原英昭様は i･PLACE 導入の背景を語られます。中国古典の価値は分かっているものの、社員の中には「科学的でない」「現代にはマッチしない」などと言って学びを拒否する人がいるのではないかと迷った部分があったことも明かされました。導入後15ヶ月を経過し、「i･PLACE利用状況レポート」で中国古典の学習回数が非常に多い状況をご覧になり、「(社員は)意外と古典にも思うところがあるんだな」とあらためて感心されていました。

中国古典の持つ普遍性は大いに頼りになる

取締役管理部門長の明比勝彦様は、「現代は情報が氾濫し、何が正しいのか、どう考えるべきか、どの方向に進むべきか迷うことが多いのですが、そんなとき、古典の持つ普遍性は大いに頼りになります。若い人にも『迷ったら常に(古典)原点にかえって』と言えるのも大事なところだと思います。また、スマホ等からいつでもどこでもアクセスできるのがいい。動画も10分程度が中心で隙間の時間で視聴・閲覧できるのもいい」と、社員が自発的に学び、また、迷ったときに立ち戻る場所として i･PLACE を導入した思いをお話しくださいました。



「i・PLACE 利用状況レポート」より、「学びの推移」月別 のグラフ
（野村貿易様 実績　2021年4月 ～ 2022年4月）

i・PLACE 利用の皆様の声

中国古典は、まさに私にとってのメンター

「“メンターとしての中国古典”は、まさに私にとってのメンターなんです」と話されるのは、インダストリー部門マテリアル事業部化学品第1ビジネスグループ課長の杉本生久子様です。i・PLACE が導入される前は、「新任管理職として何をやればいいかよく分からない。全然、（チームの）みんなのために役立ってないじゃん」と感じていたそうです。今では、「大丈夫だよ。やってみなさい！」と、中国古典に背中を押され、自信をもってチーム運営ができるようになったそうです。特に“いい働き方・いい人生”のシリーズが好きで、その中でも“五常の徳”の部分で、「徳というと難しいものと思っていましたが、徳には持ち味という意味もあると知りました。自分の持ち味を活かし、メンバーの持ち味を活かすことに集中したら、チームのみんなも生き生きとし、チームパフォーマンスも上がってきたと感じています」と微笑みながら話されました。お気に入りの動画は機会があるごとに振り返り、「できていないと思ったら、もう一度！」と自分に刷り込むように視聴されています。

インダストリー部門
マテリアル事業部
化学品第１ビジネスグループ
課長
杉本生久子様

インダストリー部門
マテリアル事業部
化学品第２ビジネスグループ
課長
佐川新吾様

インダストリー部門
機械事業部
機械第２ビジネスグループ
課長
町山晴一様

財務部
主計グループ
グループリーダー
笹沢武史様

社外にアンテナを張っていく

月に一度開催される「他社交流で気づきを深め広げる『場』」としてのオンラインでの他社交流ワークショップに積極的に参加されているのは、財務部主計グループグループリーダーの笹沢武史様です。「私は内勤なので、他社の方と触れ合う機会を得たいと思い、i・PLACE の動画講義は一度も視聴しないままいきなり他社交流ワークショップに参加したんです」と少し照れながら初参加の時を振り返られました。ワークショップでは中国古典に加え、書籍ダイジェスト SERENDIP（週に4回メール配信）で出会う新しい見聞をもとに意見を交わすことで、思いもかけない“気づき”につながっていくことが楽しみだそうです。「社外にアンテナを張って大きな視点でものごとを見ていくためにも、これからも習慣として i・PLACE を活用していきたいと思います」と今後の展望も話されました。

いろんな答えがここにある

「私は i・PLACE を参考書的に活用しています。知りたいことがあるときや、こんな場合はどう考えたらいいんだろうと思ったときに、キーワードを見つけてその講義やチャートを見ると、結構そこで答えを見つけることがあったりするんですよね」と話されるのはインダストリー部門機械事業部機械第2ビジネスグループ課長の町山晴一様です。「上級管理職講座という通信教育の課題に対して中国古典の内容が当てはまることが多く、あらためて中国古典の普遍性と懐の深さを感じました」と話されました。

“メンターとしての中国古典” 動画講義（1動画 約10分）
「知者は惑わず」より

“メンターとしての中国古典” のシリーズは3つ
いい働き方・いい人生／戦略思考を鍛える／既成概念を打破する

動画講義のチャートはPDF形式で閲覧・ダウンロード可能
書庫（中国古典）－「為(な)さざるなり」より

書籍ダイジェスト SERENDIP ／新しい知との思いがけない出会いを提供（週４回メール配信／Web閲覧(バックナンバー含む)）
画面は i・PLACE からリダイレクトした SERENDIP トップ画面

古典をヒントにものごとの本質を洞察する

インダストリー部門マテリアル事業部化学品第2ビジネスグループ課長の佐川新吾様は、「私のお気に入りは、“為(な)さざるなり、能(あた)わざるに非(あら)らざるなり”（やってないだけだ、できないのではない、の意味）で、何回も見ています」と具体的な動画講義名をあげられました。テキストのPDFを全て印刷して冊子として手元に置き、ウォーキング中や趣味の合間にも動画音声を聞くなど、中国古典を自分を映す鏡として、自己研鑽に取り組まれています。他社交流ワークショップでは、「“君は臣を使うに礼を以てし、臣は君に忠を以てす”（上司が部下を敬えば、部下は真心で応えてくれる、の意味）は心理的安全性につながる」と発言されるなど古典をヒントにものごとの本質を洞察されていました。

インダストリー部門
機械事業部
部門長補佐 兼 事業部長
潤田隆之様

企業文化として根付いてほしい

i・PLACE の導入以来15ヶ月継続して動画講義を視聴し、他社交流ワークショップへの参加も皆勤賞なのは、インダストリー部門機械事業部 事業部長の潤田隆之様です。「社内の立ち話で中国古典の話題がでたり、講義チャートのPDFを眺めている人を見かけるようになり、社内にかなり i・PLACE が浸透・定着してきたように感じています。この手の自己研鑽的なものは強制するものではないと思いますが、私自身非常に勉強になり、役立っていると感じます。会社からせっかく機会をもらっていることでもあり、より多くの社員が i・PLACE を効果的に活用していけるよう、ここにいるメンバーが先鞭をつけながら一つの企業文化として根付いていったらよいと思います」と熱い思いを込めながら語られました。

（この文書の記載内容は、2022年5月現在のものです。）

野村貿易株式会社様
東京本社　東京都港区虎ノ門4-3-13
大阪本社　大阪市中央区安土町1-7-3
https://www.nomuratrading.co.jp/

■ 発行　株式会社アイパートナー
〒222-0033　横浜市港北区新横浜2-5-14　WISE NEXT 新横浜3階

貴社の中核となる人材を育む 学び・鍛錬の場を、オンラインで。
i・PLACE（アイプレイス）の詳細はこちら ▶ ▶ ▶
https://www.i-partner.co.jp/iplace.html